

岐阜県の

プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第48号

工組とデザイン協会の総会開く

…産業展開催の成功を期す…

組合青年部の設立準備会開く

地場産業振興特別事業の指定申請へ

プラスチック成形企業の経営指標

業界ニュース

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより



工組とデザイン協会の通常総会

産業展開催の成功を期す

工組とデザイン協会の総会開く

大松理事長が協力を呼びかける

岐阜県プラスチック工業組合は、5月26日、岐阜市内の岐阜グランドホテルで『第14回通常総会』と『県プラスチックデザイン協会第20回通常総会』を開催した。議題は①昭和56年度事業報告と収支決算②昭和57年度事業計画と収支予算③プラスチックデザイン協会関係議案一など。とくに事業計画の中で、第7回岐阜県プラスチック産業展を業界あげて開催成功させることを期した。

議案を原案どおり承認

工業組合の総会は武藤昭三副理事長の開会宣言で始まり、最初は大松幸栄理事長があいさつに立ち、業界が当面する問題点について話した。

この中で大松理事長は『今日の経済情勢の中で、とくにプラスチック産業が低滞していることから、組合として確たる活動の方向を定めにくい。しかも、原料ナフサや樹脂価格の問題などプラスチック産業をめぐる環境は混とんとしており、業界は機敏な対応を図っていかねばならない。

岐阜県の業界は、56年度に活路開拓調査研究事業を実施し、こうした環境の変化の中を生き抜くための目標を得たが、ことしはその最大事業である第7回岐阜県プラスチック産業展の開催と取り組むことにした。このため工業組合は総力をあげて産業展を成功させねばならない』と協力を呼びかけた。議案の審議は田中弘一副理事長を選んで行い、56年



来賓多数を招いて開いた今年の通常総会



総会を祝ってパーティーも開かれた

度事業報告と収支決算、57年度事業計画と収支予算などを原案どおり承認した。

工組が総会席上で決定した57年度の事業計画は①第7回岐阜県プラスチック産業展を開催し、販路開拓と組織の充実をはかる②会員企業および組合の後継者を育成するため、若い経営者を中心に青年部組織を設け、研修、情報交換親睦などを自主的に行う③県、県工業技術センターなど関係機関と協力、講習会、研究会、展示会、見学会、巡回技術指導などの事業、さらに委託事業による射出成形の技能検定試験を実施する④年間6回、会報を発行し、緊急を要する場合は随時組合員のために情報提供する⑤組合員の希望品目の共同購入を行う⑥県、政府系金融機関よりの借入れや設備機器などリースのあっせんを行う⑦組合はディーラーと提携し、組合員および組合員の従業員の有利、簡便に自動車が購入できるように割賦融資制度を実施する⑧労働保険の事務委託、離型剤、オイル管理の事務代行、その他の代行事務を行う一などが主な内容である。

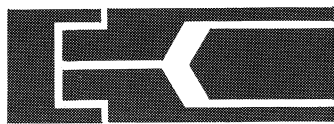
工業組合総会に続いて県プラスチック協会の総会が行われ、大野繁俊副理事長を議長に①56年度事業報告、収支決算、57年度事業計画・収支予算などを審議、原案どおり承認した。これら二つの総会席上に来賓として加藤岐阜

県商工労働部中小企業指導課長、佐藤岐阜県工業技術センター場長、高橋商工中金岐阜支店次長はじめ関係団体や取引金融機関の代表も招かれた。

組合青年部を設立 7月2日に準備会開く

さきに開いた5月総会で組合青年部設立が認められたため、さる6月8日に組合事務局で設立準備会を開いた。工業組合に青年部を設ける構想は、昨年開いた第1回製品開発スクール開催の参加者から意見が出てようやく実現の運びとなった。

準備会では青年部規約案について話し合ったが、目的を『組合の健全な発展を図ると共に、企業の合理化、近代化および高度化を推進するため、会員の研修と相互の親睦を強める』とすることにした。また、事業としては①各種研修会の開催。とくにTQCなどについて②組合運営や企業経営の情報交換③会員相互の親睦一など行うが、最終的には7月2日に工組事務局で開く設立準備会で決定する。



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

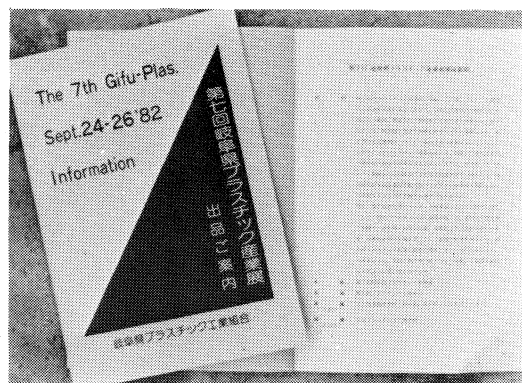
名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



第7回岐阜県プラスチック産業展 開幕まで3カ月

当工業組合が9月23日から4日間、岐阜産業会館で開催する『第7回岐阜県プラスチック産業展』は、あと3カ月余と迫った。このプラスチック産業展は協会時代の昭和42年に第6回まで開催して途絶えていたもので、実に15年ぶりに再開、これを機会に岐阜県のプラスチック産地を県内外に積極的にPRするという販路開拓プランが秘められている。とくに産業展には県外の商社・メーカーの出品を得て、省エネ・省力化機械展を併設し、県内企業の設備近代化と技術向上の推進を図ることにしており、開催準備は急速に盛り上がっている。

このため近く出品者会議を開くが、工組内に設けた準備委員会では、県外の成形機メーカーやプラスチック関連機器メーカーに対し、最終的な出品勧誘を展開している。県外出品メーカーは6月15日現在で20余社が本決りし、その主なメーカーを紹介すると、射出メーカーでは東芝機械、東洋機械、日精樹脂、日本製鋼所、名機製作所、山城精機、富士越工業などをわが国の主要メーカーがずらり。また、ロボット機として川崎重工、三菱重工、周辺機器では朋来、



全国へ郵送した出品案内書

マテックス、スター精機、その他松下電器、日本石油など各社の出品も決っている。

この出品決定状況からすると、岐阜県のプラスチック展は実演展示会場が射出メーカーと関連機器メーカーがずらり並び、製品展示会場は工業組合員を中心とした県内PRコーナーに分かれることになる。したがって内容的にはかなり充実したものとなり、出品企業はことし11月に東京で開く国際見本市・ジャンプラスの前哨戦と見ており、関心が高まっている。

海外企業が59社も参加 11月に東京で開くジャンプラ

プラスチックとゴムの国際見本といわれる『ジャンプラス'82・東京』は、11月17日から6日間、東京・晴海の国際見本市会場で開かれる。主催する日本プラスチック見本市振興会がまとめた最終開催規模によると、出品会社は262社と過去最大規模の見本市になることがわかった。とくに海外からアフロス社(イタ

リア) バレル・アンド・スクリュウ社(カナダ) イルコン社(アメリカ) などが初参加するなど59社が加わり、東京を舞台に積極的な商談が展開される。

今回の特色は、プラスチック産業界の省エネに役立つ成型、工作機械や石油の省資源化をねらった製品、電子機器用絶縁材料や成形品が出品される。会場は第1会場から第5会場に分かれ、会期中20万人の入場者を見込み、海外からのバイヤーは200人に達する見通し。

申請行い指定に全力をあげる 県が実施する地場産業振興特別事業

当工業組合は、岐阜県下に集積するプラスチック産業が県内7大産業の一つとして定着を図るため『岐阜県地場産業振興特別事業』の申請準備に入った。この事業は県内地場産業の活力ある発展をめざして、岐阜県が55年度後半から県単特別事業として実施しているもので、早急に申請準備を行ったあと大松理事長を先頭に理事会あげて指定を受けれるよう全力をあげることにした。

事業のねらいは、県が国の産地振興指定にならない地場産業を業種別に振興するもので、工業組合ではさる5月いらい事業対象になるかどうかについて打診と検討を進めてきた。この結果、県の理解が得られる見通しがついたため、早急に申請手続を行ったうえで、事業の指定がもらえるよう運動することにしたもの。

もし事業の指定を受けられると、初年度に振興計画の策定事業を行い、次年度から3年以内に計画にもとづく具体的な振興事業を実施することになる。補助額は計画策定事業が2分の1以内の額で100万円まで。実施事業については補助対象経費の2分の1以内の350万円ま

で県費補助される。

現在、事務局では申請にあたって最終的な諸調査を進めているが、計画策定事業としては『宣伝、販路の開拓』と『情報の収集、提供』を主テーマとして振興ビジョンの策定計画をねっている。

7月6日から技能検定講習会

工業組合は技能検定に先だって7月6日から2日間、県の工業技術センターで『技能検定講習会』を実施する。

第1日目は午前9時半から大松理事長の開講あいさつのあと、技能検定受験についての注意事項の説明を行う。第2日目は午前中が友友重機械工業と日精樹脂工業から技術者を招いて、基礎加工技術の向上と安全管理を学ぶことを予定している。

なお、今年度のプラスチック射出成形の技能検定は、学科試験が9月19日に全国統一のもので行われる。また、実技の検定は7月13日から16日まで県工業技術センターで行われ、県内受験者は1級1人、2級14人が予定される。



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲5の7

名古屋営業所 名古屋市市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)

TEL <052> 582-5071

業界内部の格差が広まる

プラスチック業界の経営指標

岐阜県商工労働部は、昭和56年度に調査した岐阜県中小企業の経営指標をまとめた。これは県内中小企業10業種753企業（このうちプラスチック成形業界は39企業）の経営実態を計数的に把握したもので、企業経営の合理化と診断指導の参考資料として注目される。

まとまった経営指標の中からプラスチック成形工業についてみると次のとおりである。

収益性関連比率は漸増傾向示す

＜収益性＞ 経営資本対営業利益率をみると53年6.8%、54年7.4%、55年7.8%と収益性は上昇傾向にある。とくに収益性関連比率はいずれも漸増傾向を示しており良好である。しかし、年々減少気味であった赤字企業が集計した39社中11社に増え、業界内部での格差が案外多い。

業種別には射出成形専業が38.0%と自己資

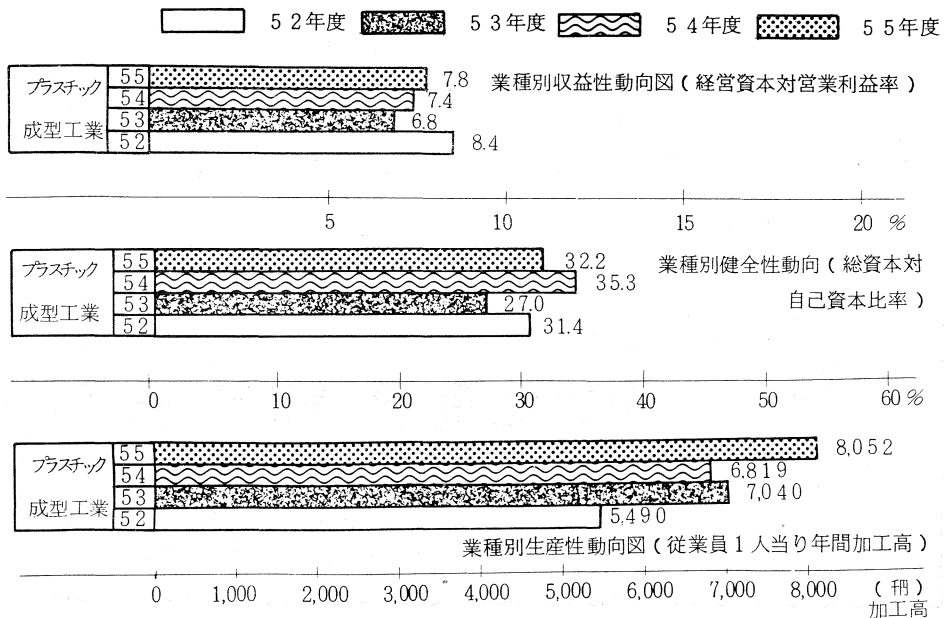
本比率が高く、自己資本充実がまたれる。

＜健全性＞ 総資本対自己資本比率をみると前年より3.1%も落ちて32.2%となった流動比率、当座比率も連動して対前年比ダウンし、健全性はやや低下した。しかしながら、自己資本対固定資産比率が著しく改善され、固定長期適合率も74.5%と低率となった。このため長期借入金の減少になって現われ、金利負担も0.1%減の1.3%となり、体質の改善が図られたといえる。

生産高と加工高は大幅に上回る

＜生産性＞ 従業を1人当りの年間生産高と加工高をみると、それぞれ前年より大幅に上回って年間生産高は2,307万8千円、加工高は805万2千円となった。この差が大きいのは原料費や外注費の大きいことを示している。加工高比率は41.8%と前年よりも加工高は落ちている。従業員の1人当たり平均人件費をみると前年より7.3%アップし18万7千円をかなり高水準となり、加工高の上昇の方が大きい。

プラスチック成形工業の経営指標の動き



◎岐阜プラへ中国の研修生入る◎

岐阜プラスチック工業は、このほど中国の江蘇省よりプラスチック成形に関する研修生二人を受け入れた。研修生は中国のプラスチック工場である南京塑料公司の陳小平氏（30歳）と蘇州塑料工場の陳皓氏（24歳）の2人。こんご来年5月までの1年間の日程で、各務原市前渡東町にある本社工場で、射出成形技術、金型の設計製作、部品の組立て、材料の選定、品質管理技術および関連企業の見学など、各面にわたり研修を受ける。

◎農業廃棄物で歩道用敷石作る◎

宮崎県工業試験場は農家などから廃棄物として出る塩化ビニールを再生利用する新技術を開発した。塩ビにニッケルスラグ（鉱さい）など他の産業廃棄物を混ぜて新複合材を得るもの。複合材はコンクリートに比べ弾力性に富み、大きな衝撃にも耐えられる特性がある。このため歩道用敷石などに利用できるといふ。

製造法は簡単。加熱とかくはんをするための容器に、乾燥、裁断した塩ビシートの小片を入れ、摂氏150度で熱すると柔らかな餅のような状態になる。これにニッケルスラグ、マンガンスラグなどの産業廃棄物を入れ、成形する。

コストは敷石1枚分が206円でコンクリートとほぼ同程度。

◎第三の素材への進出が相次ぐ◎

ファインセラミック分野へ進出する企業が相次いでいる。これは金属、プラスチックに次ぐ第三の素材といわれる新素材で、耐熱構造材、耐摩耗材、耐食材として注目される。地元の東海北陸地方の企業で進出を公表したのは信越化学工業と揖斐川電気工業で、いずれも炭化けい素系の製造法を開発、2社とも製品開発を急いでいる。

このファインセラミックスは1990年代に5千億円市場を獲得すると予想される有望材料で、すでにセメント、ガラスなどの窯業各社が本格的な取り組みを見せている。

◎初の食卓台所用品総合見本市◎

財団法人生活用品振興センターは、11月28日から3日間『全国食卓・台所用品総合見本市・81』を東京・晴海の国際見本市会場B館で開催する。出品内容はプラスチック製品のほか木竹製品、陶磁器、ガラス製品、刃物、金属製品など。この種の全国規模の総合見本市はわが国初めての試みで、関係者から大きな期待を集めている。

TOSHIBA 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
 名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
 化工機課 TEL <052> 561-8341

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

消費者にとって必要なモノは？

低需要下における商品開発として、まず考えなければならないのは、消費者にとって本当に有意義なモノであるかどうかであり、言うまでもなく、これがニーズをとらえた商品開発の第1歩である。

さらに簡単な言葉では、生活必需品ほど良く売れ、そうでないものはよほどデザインが良くないと売れないと言われている。

では、消費者にとって本当に必要なモノというのはどのようなモノをさして言うことができるのだろうか。

当工業デザイン室では、コンピューターを使用し、商品科学研究所とCDI（文化開発研究所）によって発刊された生活財生態学という文献から必要な調査結果をインプットした。

この調査は、家庭内にあると予測される約2000品目の保有、使用、入手状況を140家庭を対象に行ったものである。

その結果によれば、90%以上の方が所有している用品の使用状況別プラスチック関係用品

は次のとおりである。

（使用90～100%）

- ハンガー
- センタクバサミ
- ハブラシ
- センメンキ
- クズカゴ
- セッケンケース
- ヘアブラシ
- セッケン・タワシイレ
- ミズキリ
- モノホシハンガー

（使用80～89%）

- ショウユイレ
- スイモノワン
- トイレブラシ
- クシ

- アライオケ

（使用70～79%）

- ハイザラ
- センヌキ
- チリトリ
- ホース

（使用60～69%）

- クツベラ
- カンキリ
- ヘアピン
- タチバサミ
- イトキリバサミ
- クツヨウブラシ
- アマガサ

これら基本的生活用品ともいえる用品に関しては、我々研究スタッフの57年度テーマ研究テーマでもあり、今後さらに詳しい資料が提供できるが、これら商品の見直しによって、より完成度の高い商品を開発する事が、今後増々重要なデザイン開発となってくるようである。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバデュール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC**

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) [〒100]

アイデア生かし24時間無人運転

アサヒ化成



朝日照夫さん

工場訪問は、奥美濃の郡上郡八幡町五町にあるアサヒ化成（朝日照夫氏代表、従業員5人）を訪ねた。やがて盆踊りが始まる八幡の町並みを通り抜け、吉田川の鉄橋を約1キロ北進した国道156号線沿い。工場は2棟。1棟は約200平方メートルのすだれ工場と330平方メートルの成形工場に分かれる。それに機械工場、原料や製品倉庫などの付属建物が続いている。

成形工場（写真）は湯おけ、洗面器、バケツ、くず入れなどの日用雑貨品を成形。すだれ工場では、塩ビ押出機で細パイプをつくり、これを材料にすだれを織っている。こうした日用雑貨品は季節商品であるが、毎年前半をすだれ生産、後半は雑貨の成形作業を主に行い、年間の仕事をうまくバランスとっている。

手先きの器用さを生かして独立

朝日さんが創業したのは昭和38年。若い時代に木工所で働いた手先きの器用さを生かして独立、プラスチック業界に飛び込んだ。最初は塩ビパイプを加工した洋服かけなどをつくっていたが、44年に10オンスの射出成形機を購入し、家庭雑貨品の生産に入った。設備は順次増え、今では10オンス3台、2オンス1台の合計4台の射出成形機が稼働している。

ところが石油危機後のプラスチック加工業界

は良いことなし。とくに日用雑貨品は、原料高の製品安で商品はさっぱり売れない日が続いた。そこで朝日さんはいろいろ考えた。まず、手かけたのは雑貨品の売れない冬場の仕事として、すだれ生産と取り組んだ。使わなくなった押出機を何台も買い入れて修理、塩ビパイプをつくり、すだれ織機にかけて織った。

費用をかけず二次加工も自動化

一方、成形機は原料の供給から製品の取り出しまでオール自動化。商品もバケツ、くず入れなど主力を数点にしぼり、24時間の無人でし



かも連続運転にした。こうして朝日さんは、機械や金型の補修から自動化装置まですべて自分でやってのける。最近ではバケツのツル曲げ、くず入れのシート貼り、成形後のバリ取りなどの二次加工まで自動でできる装置をつくった。

アイデアを生かし、何事も朝日流で作ってしまうので、設備費用はかからない。しかも、夜間の作業は無人運転。トラブルが発生してもブザーが鳴って知らせてくれるという。消費地に遠い郡上の奥地でも十分に価格競争力があるわけで『雑貨といえども智恵と努力で打ち込めばやっていけるものだ』と朝日さんは述懐する。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

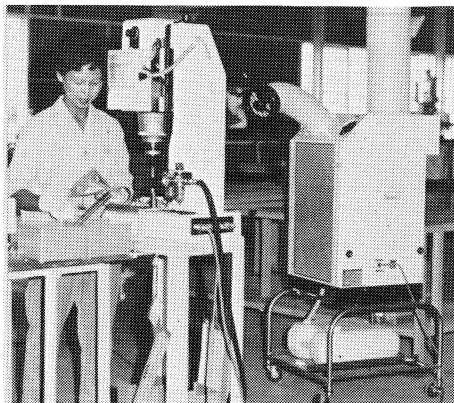
□ 県の省エネ融資制度のご利用を □

省エネ型の成形機を購入する場合、いままでは税の優遇だけでしたが、組合では県へ要望し融資の面でも低利の特別融資を受けることができるようになりました。融資を受けるにあたっては省エネ型であるという認定が必要ですが、組合ではその事務代行しますのでお申し出て下さい。融資限度額は2,000万円、期間は7年以内、金利は6.7%です。保証が必要な場合には金利は7.5%（利率6.5%、保証率1.0%）となります。手続は認定書をそえて取引金融機関へ申請してもらいますが、その他詳細は組合事務局まで。

□ 組合で一括購入、浄油機賃貸も □

組合では会員企業で必要な商品の一括購入事業を実施しております。実施品目はさきにご案内しましたように『マツダオート系各車種の特別割引』『松下製工場用スポットクーラー』『工場扇』『交流電流調整器』などです。この他共同一括購入のご希望がありましたらお知らせ下さい。

なお、工組ではオイル浄油機のレンタル制度



スポットクーラー、工組に見本あり

も実施しておりますので、ご利用下さい。

□ 組合青年部準備会に参加下さい □

かねて計画していました『工業組合青年部』が設立準備会を開催するまでにこぎつきました。現在は準備会を度々開いて規約や事業計画を練っているところですが、当初は人材養成とか後継者育成とか堅く考えないでスタートします。気軽にご入会下さい。

岐阜県のプラスチック
1982 48号

昭和57年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルプ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1581(代)



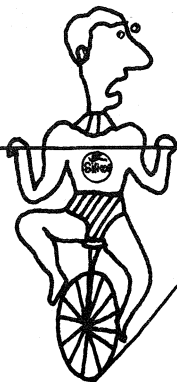
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性です。型を傷れません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

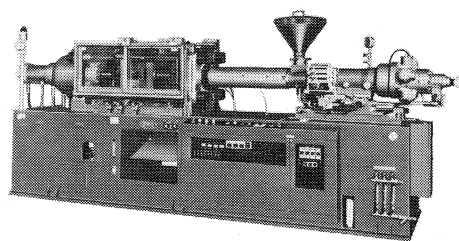


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI
P

1歩進んだ射出成形機をおとけする

日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野 県 坂 城 町 電話 (0268) 2-3000 (大代表)
営業所・東京 ☎ (03) 357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (0268) 2-3000 (代表)
出張所・全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1 (茜ビル) ☎ (0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学品部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

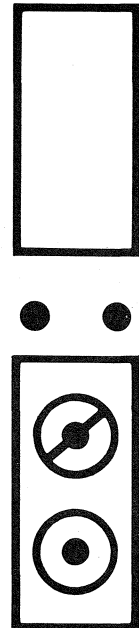
取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL-94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

ゆたかな生活環境をクリエイト

発見と発明

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(022)166-1525



生きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮